

議会だより

9月定例会

9月定例会に提案された議案の概要です

平成21年9月定例会が、9月2日から29日までの会期で開催されました。
今定例会では、議案や市民から出された陳情が、各常任委員会や決算審査特別委員会で審査されました。
最終日には、これらの案件に加え、追加議案や議員提出議案が提出され、採決されました。(8面に審議結果を掲載)
なお、市政に関する一般質問は、21人の議員が行いました。

市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)
市国民健康保険特別会計補正予算(第1回) 3月までの暫定措置として、38万円から42万円に増額されることに伴う経費及び20年度の精算額の確定に伴い、一般会計への繰り出し金、また、償還金の確定に伴う償還金を計上する。
市水道事業特別会計補正予算(第2回)
地域活性化 経済危機対策臨時交付金により、下水道台帳システム更新事業及び常盤平衛生処理場のデジタルテレビ整備に、所要の経費を計上する。
市老人保健事業特別会計補正予算(第1回)
平成20年度の決算の確定に伴い、収入済額が確定額を上回ったため、返還金を計上する。
市介護保険特別会計補正予算(第1回)
平成20年度の決算の確定に伴い、余剰金が発生したため、介護給付費等準備基金への積立金と、国・県等返還金及び一般会計返還金の収入済額が確定額を上回ったため、返還金を計上する。
市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)
平成20年度の決算の確定に伴い、保険料等負担金過年度分を増額するとともに、収入済額が確定額を上回ったため、繰り出し金を計上する。
市水道事業特別会計補正予算(第2回)
地上デジタルテレビ購入費、アナログテレビの撤去費及びリサイクル料を計上する。
議案第21号 平成21年度松戸市病院事業特別会計補正予算(第2回)
収益的支出では、医療設備、院内施設等修理経費、医療事故の和解金及び梨香苑入所者の検査手数料等を計上する。



昨年の戸定菊花展(今年の詳細と案内図は8面に掲載)

資本的支出では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金によるデジタルテレビ整備に係る経費を計上する。
議案第22号 松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
緊急の少子化対策として、出産育児一時金の額を引き上げることにより、被保険者の経済的負担の軽減を図るとともに、地方税法等の改正に伴い、国民健康保険料の算定の特例規定を整備する。
議案第23号 松戸市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について
現下の厳しい社会情勢に鑑み、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の保険料に係る延滞金の割合の軽減措置期間を延長することにより、保険料の納期内納付が困難な被保険者の経済的負担の軽減を図る。
議案第24号 和解及び損害賠償額の決定について
市施行区画整理地内の住宅地が陥没し、家屋が傾斜した事故について和解し、これに対する損害賠償額の決定を決定する。
議案第25号 和解及び損害賠償額の決定について
側溝蓋の隙間による歩行者転倒事故について和解し、これに対する損害賠償額を決定する。
議案第26号 損害賠償額の決定について
国保松戸市立病院における医療事故について和解するに当たり、これに対する損害賠償額を決定する。
議案第27号 市道路線の認定について
早期開通が望まれている松戸市都市計画道路3・3・7号横須賀紙敷線幸谷区間に、平成21年2月5日に、地権者と新たな松戸市道新設道路を建設することで合意したので認定する。
議案第28号 教育委員会委員の任命について
教育委員会委員の任期満了に備え、後任者を任命する。
議案第29号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
固定資産評価審査委員会委員の任期満了に備え、後任者を選任する。

議場コンサート(シテミニコンサート)

～秋の調べ クラリネット二重奏曲の楽しみ～

本市議会では、市民の皆様が気軽に議場へ足を運んでいただき、議会を身近に感じていただくとともに、音楽に親しんでいただくため、議場でのコンサートを開催することになりました。秋の季節にふさわしいクラリネットの調べをお楽しみください。

日時 平成21年11月18日(水)
午後0時15分～45分
場所 松戸市議会議場(議会棟3階)
演奏者 川井夏希・蒲 恵美【クラリネット】
曲目 ジュ・トゥ・ヴ(サティ)
協奏的二重奏曲第1番
(プランツァー)ほか
人数 当日先着150人
受付 3階ロビー(午前11時30分から)
費用 無料



一般質問

9月定例会では、21人の議員が一般質問をしました。一般質問は、定例会で議員が市政の諸問題や将来の見通しなどについて、市の考えを聴くものです。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

質問をした議員（通告順）

- 中田 京・織原 正幸・山沢 誠・飯箸 公明
- 山中 啓之・城所 正美・矢部 愛子・木村みね子
- 石川 龍之・佐藤 恵子・高橋 妙子・桜井 秀三
- 松井 貞衛・宇津野史行・工藤 鈴子・高木 健
- 伊藤余一郎・磯崎 吉弘・本郷合健次・二階堂 剛
- 谷口 薫

情報公開で 行政の説明責任を

問 市民への情報提供について公文書公開条例から情報公開条例へ移行後、停滞しているように見えるが、情報提供で説明責任を果たすことをどう考えるか。

答 本市の情報公開の理念は、「市の情報は市民に原則として全て公開しなければならない」が前提である。個人情報等、条例で定める非開示情報に依らないものは、すべて公開すべきであるとは当然と考えている。

また、情報ツールとしては、インターネットのみならずパンフレット、広報誌や図書館、行政資料センター等がある。適切な手段を工夫・選択し、市民が必要とする情報をタイムリー、かつ、効率的に提供していくことにより、行政の説明責任を積極的に果たしていきたいと考えている。

災害時要援護者を 守るために

問 「災害時要援護者避難支援プラン」の策定状況を伺う。

答 これまでに、福祉関係部局や防災関係部局の関係課の担当者により、プランの基本的考え方、「支援すべき対象者の考え方」、「要援護者情報の収集・共有の方法」、「避難体制」等の10項目を検討し、「松戸市災害時要援護者避難支援プラン」の案ができた。現在、素案を基に所長会議で、行政内部での「松戸市災害時要援護者避難支援プラン」全体計画案を作成中である。また、共同生活の困難な災害時要援護者が、安心して避難生活を送れる福祉避難所として、特別養護老人ホーム等の協力を得るための協定締結を先行して進めている。

今後の予定は、「災害時要援護者避難支援プラン」全体計画を平成21年度中に策定し、22年度に

自転車利用による 環境対策や健康的な乗り物

問 環境対策や健康的な乗り物という観点から、自転車の利用促進に向けての施策は。

答 平成21年度、市では、「仮称」バイク二輪専用道路プロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、自転車の持つ可能性を生かし、健康づくりや環境重視等をキーワードに、まちづくりや経済振興にも寄与できる施策を検討していく。

また、国土交通省では自転車の貸し出しシステムや専用道路の整備を推進している。また、国土交通省が認定する制度が創設されると聞いて、これら一定区間の専用道路整備にこ

どまらず「自転車」が利用しやすいまちづくりを、都市全体で推進する点が最大の特徴であり、本市が目指す自転車施策の方向から、この認定に向けて取り組んでいきたい。

東松戸駅まで バス路線延伸を

問 新成松バス松戸線は、市立病院の東松戸地区への移転が計画されたことにより、取り巻く状況が変化してきた。同路線の東松戸駅までの延伸についての考えは。

答 現在、同地域でのバス事業は必ずしも好調ではないが、武蔵野線と北総線が交差した東松戸駅から、至近距離に新病院建設が予定されている。また、周辺の開発促進や北総線の特急等の停車、成田新高速鉄道の開業等、拠点性や広域性は飛躍的に高まっている。新病院建設の構想を契機に、松戸線の延伸は、公共交通ネットワークの充実につながるものとして、バス事業者と交渉を重ねている。

今後、新病院に隣接する都市計画道路3・3・7号の部分的共用開始など条件はあるが、延伸についてはバス事業者もおおむね前向きな方向にあり、新病院開業に合わせて実現できると協議していく。

問 予算の中で、大きな割合を占める公共施設の有効活用のために、現状と施設管理費・運営管理費を可視化してはどうか。

答 施設が設置目的どおり活用されているか、利用者の満足を得て機能しているか等、各施設のデータを一元化し、グラフや表などを活用して視覚的に理解しやすいことは、市民に対する説明責任を果たす上でも重要であると認識している。

市内の検討組織として、平成20年に公共建築物整備検討会を設置し、公共施設のあり方を検討している。各施設からのデータが集まった後、これらデータをどの様に加工して見やすい資料とするか検討を進めている。

森のホール21 利便性の向上を

問 夜間の部の利用時間では、準備の時間が足りないとの声を聞くが、貸出時間をもう少し早めることはできないか。

答 貸出時間は、9時から12時までと13時から17時まで、夜間は18時から22時までで、各区分間の1時間は清掃等の施設整備時間としている。貸出時間を変更することは、3区分の配分バランスによる利用者への影響も考えられることから、利用者や市民の意見を聞きながら、検討していきたい。

駐車場や遊具等の混雑発生件数は、毎年約10件ある。混雑が予想される場合は、誘導員や警備員の配置など、周辺の駐車場施設に協力いただき、混雑の緩和に努めている。

問 「がん」による死亡率を減少させるには、「がん」そのものを学ぶことが必要であると考える。遺伝子や細胞分裂を学ぶ中学生へ「がん教育」を行う考えは。

答 学習指導要領の保健学習の中には、「生活習慣病とその予防」があり、正しい知識の習得やがん検診の必要性についての学習は重要と認識している。

「がん」は、細胞変異による病気で、偏食や飲酒、喫煙に起因するものや女性特有のものもあり、その特性に合わせた予防・治療の「がん教育」も必要である。生活習慣による疾病予防等の学習推進には、保健以外にも道徳や理科、家庭科や食養士による食指導など、さまざまな教育手法が考えられる。

「がん」の正しい知識を指導することは、生涯にわたり自分自身や家族の健康を守ることにつながる。今後も健康教育の重要な課題として、指導していきたい。

松戸駅西口デッキの ステージ活用は

問 平成20年10月に西口デッキにイベント用ステージが設置されたが、利用状況と運用ルール、市民への周知方法を伺う。

答 20年度は、各種団体による音楽イベントやダンスパフォーマンスなど、延べ10回のイベントが開催された。21年度はそれらのイベントのほか、地元企業による畑直野菜の「地産地消」フェア等、8月末までに延べ13回の開催されたことである。運用ルールは、ステージの設置目的である松戸駅周辺の活性化やまちの賑わいを創出し、公共空間としてふさわしい催しを開催することとして、にぎやかに推進協議会が運営管理をしている。周知方法は

この地区のまちづくりは、地元熟度や経済状況を見極めながら、後期基本計画の実施計画事業に位置づけられるよう取り組んでいる。



イベントの様子

新松戸駅東側の まちづくり推進を

問 住商間日本一の鍵開くのは新松戸駅周辺のまちづくりであると考え、しかし、新松戸駅東側は本下水、排水、救急車両が通れる生活道路の確保など、最低限のインフラ整備が遅れている。本来、駅前の一等地である駅東側のまちづくりをどう考えるか。

答 この地区は、昭和46年に都市計画決定し、地権者と区画整理によるまちづくりの協議を重ねた経緯がある。個々のインフラ整備を先行すると地権者などに過重な負担をかけることから、区画整理事業による一体的な整備・改善を期待したが、事業化には至らなかった。しかし、浸水対策などのインフラ整備は、緊急の課題と認識しており、引き続き対策を講じていく。

この地区のまちづくりは、地元熟度や経済状況を見極めながら、後期基本計画の実施計画事業に位置づけられるよう取り組んでいる。



東松戸駅前口ターミナル

妊婦の 歯周病予防対策は

問 妊娠中は、歯周病にかかりやすく、早産や低体重児出生等のリスクが高まると言われているが、妊婦の歯周病予防対策は、

答 市民健康相談室では、母子健康手帳を渡す際に、いつまでも丈夫な歯を保ちましょう、というパンフレットとともに、「妊婦歯科健診受診券」を渡している。この受診券を使うことで妊娠中に1回、委託医療機関において無料で受診することができる。また、母子健康手帳発行時に妊婦歯科健康診査のPRと委託医療機関を載せたチラシも同時に配付している。さらにママパパ学級での講話とともに、歯周部の歯垢を取り除くためのデンタルフロスの使い方や、歯垢をしっかりと出すためのブラッシングや歯磨きなど、実習による実践的な歯の健康増進を指導している。

麻しん(はしか)対策

問 学校における麻しんの予防策及び発生時の対応は、

答 平成19年に、麻しんに関する特定感染症予防指針が改正され、中学1年生(第1期)及び高校3年生(第4期)を対象に20年度から5年間、予防接種を実施している。

学校では、入学時と進級時に予防接種履歴を確認し、未接種者の保護者に勧奨を行い、児童生徒には「麻しんの症状」や「予防接種の必要性」の指導、保護者には「学校だより」や「健康だより」等で予防接種の必要性を周知し、接種を勧奨している。

発生時の対応としては、「麻しん対策会議」を学校で開催し、学校医や保健所職員から指導助言を

いただいている。学校長は学校医と連携し、「学校保健安全法」に基づく出席停止の措置を講ずることや感染が拡大すると思われる場合には、収集した情報に基づき、市教委及び学校医や保健所等と協議し、臨時休業等の措置」を決定する。

松戸花火大会の継続を

問 花火大会(協賛会等)の募集状況について伺う。また、市民の楽しみである花火大会を全国的に中止する自治体が多いが、今後実施するの否か。

答 当初定額1300万円で対し、1275万3100円の協賛をいただき、平成20年度の実績額は約9万8000円の減額であるが、厳しい経済状況にある中、協賛者数は75件、前回に比べ16件増えた。

花火大会で38回目という歴史ある花火大会であり、みんなであげよう、というスロガガのもも、市民・企業・団体等からの協賛と協力により実施している。近隣市が中止する状況があるが、この状況から、花火大会を開催することで、松戸市が元気になることを市民に伝えることにもなり、今回の花火大会は大きな意味があった。多くの方が楽しまれ、喜んでいただいているイベントなので、その期待に応えるためにも、22年度も実施したいと考えている。

市を災害から守る

問 消防団消防センター(消防車両庫)前の駐車禁止及び平成21年5月1日の「消防法」改正について伺う。

答 市内41か所ある消防団消防センターのうち、交通渋滞等で出場の障害と懸念されるのが5か所である。駐車禁止の路面表示

が有効だと認識するが、関係機関との協議では難しい状況である。しかし、市民の生命、身体及び財産を災害から守るためには、迅速な対応が重要で、今後、他の手段も含め研究課題としたい。

「消防法」一部改正については、救急搬送において収容先医療機関が決まらない事案等、傷病者が病院に収容されるまでの時間が延びることから、第1条に「災害等における傷病者の搬送を適切に行うこと」が追加されたこと、消防と医療機関の連携を推進することを目的としている。

市のホームページの 充実を

問 行政からの一方的な情報提供ではなく、市民の意見を汲み取る仕組みを組み入れるかどうか。

答 利用者にとって分かりやすく利用しやすいことを目的に、平成20年度にリニューアルをしたところである。

現在、ホームページ利用者の意見や要望は、インターネット上で電子メールを利用したり、2012年12月にリニューアル1年となるので、その時期を目途にホームページ上で、その利便性等についてのアンケートの実施を考えている。

そのアンケートの中で、現在のホームページの内容の分かりやすさや、使いやすさ、とり着きやすさなどについて利用者の意見を聞かせていただき、今後のホームページの更なる充実を図っていきたいと考えている。

特別養護老人ホームの 待機者への対応は

問 特別養護老人ホームの待機者で、ひとり暮らしや老老介護で寝たきり等の重度の方々の生活状況などの把握は進んでいるか。また、支援はどのように行われているか。

入所申請されている待機者1465人のうち、在宅で要介護3以上の、ひとり暮らしや夫婦のみで世帯の方は330人である。このような支援が必要な方々は介護保険サービスを始めとした公的サービスを利用し、地域の見守りなどで生活をされている。また、親族が介護されている場合も、生活に急激な変化があり、緊急の支援が必要となつた場合、必要とされるサービスを適切に利用できるよう、地域包括センター、在宅介護支援センターや介護予防推進担当室がケアマネジャーやサービス事業所等、関係機関と連携を図り、相談に対応できる体制をとっている。

根木内歴史公園の 協働の取組は

問 公園の開設当初より、主に近隣の市民で構成された(通称「根っ子会」)が中心となり諸活動を進めてきたが、こうした協働の取組について伺う。

答 平成18年の開園以来、根木内歴史公園サポート「根っ子会」とも活動してきた。この協働での取組は、20年度に完了しており、今後の予定はない。また、秋山には、総額約18億1000万円の、このうち松戸市の負担は約4億3000万円、二ツ木・幸谷には、総額約2億7000万円で、このうち松戸市の負担は約7000万円となっている。

土地地区画整理事業への 公的資金投入の現状は

問 土地地区画整理事業(紙敷、秋山、二ツ木・幸谷)それぞれの事業について、これまで投入された公的資金の金額と、今後の予定について伺う。

答 平成20年度末現在の投入状況は、4土地地区画整理事業組合(関台、紙敷、秋山、二ツ木・幸谷)に対し、補助金及び負担金を合わせ約83億8000万円であり、このうち松戸市の負担は約41億1000万円となっている。

公的資金の投入については、関台は15年度に、紙敷は20年度に完了しており、今後の予定はない。また、秋山には、総額約18億1000万円の、このうち松戸市の負担は約4億3000万円、二ツ木・幸谷には、総額約2億7000万円で、このうち松戸市の負担は約7000万円となっている。



根木内歴史公園の遊歩道

平成21年度病院事業 決算の見通しは

問 経営改善策は順調に進んでいるか。

答 公立病院経営改善プランに盛り込んだ生きた事業として、DPC導入による医療の標準化と収益性の向上、医療材料購入の効率化による価格の引き下げ、委託契約の見直しによる経費の削減、各種施設基準等を満たすことによる診療報酬の確保がある。これらの実施により21年度は、約6億5000万円の収支改善を指している。

DPCとは、出来高払い制度である診療報酬。疾病別1日当たりの定額払いに変更したものであり、入院に導入し月に約1000万円程度増収が図れた。なお、経営改善プランによる計画の進捗も、状況は毎年評価を行い、計画の見直しを図っていく考えであるが、21年度は黒字は難しく、赤字幅を最小限に食い止めるよう病院を挙げて取り組んでいるところである。

市立病院の 経営改革の状況は

問 第三者機関による評価や最新の経営手法を導入しているか。

答 市立病院は、医療の安全性、診療内容、療養環境、患者サービスの質を向上させ、すべてに「ここに来てよかった」と思われる病院を目指し日々取り組んでいる。そのため日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の審査を受け

平成16年4月に認定病院として認定書を取得し、21年8月に更新をしたところである。経営手法として、19年度から導入を進めている。パラレル・スコアードがある。これは、病院の理念に基づいて質の高い医療サービスと提供体制を実現するを病院の戦略として、内部のプロセス、学習と成長及び財務の3つの視点に分け、それぞれ適切な目標とアクションプランを設定し、経営戦略の計画から具体的な実施までを職員が共有していく手法で、職員に対してその研修会や各診療科の部長とのヒアリングに活用し始めている。

市立病院の移転建設 問題の解決に向けて

問 市民からの要望に対する説明は、

答 新病院建設が緊急を要し、用地の取得も時期を逸すと困難になるものと考え、短期間のうちに議会への説明、関係議案の提案となり、市民へ十分な情報を提供する時間が不足せざるを得なかった。そこで、平成20年12月定例会に新病院の用地取得の議案を提案した後、時を移さず12月13日に現市立病院の地元町会役員への説明を行った。その後、21年2月から8月未だに町会や商店会には6回、市政協協力委員へ2回、商工団体へ1回、計9回の説明会を行っている。また、21年度は市政懇談会のテーマとしても取り上げ、市内全域において説明をしている。さらに、広報まつどや市のホームページでも、新病院整備基本計画の記事を掲載して、市民意見を求めたところである。また、説明会等で多く寄せられた質問を広報8月15日号からQ&Aの形式で11月1日号まで連載する。

「公共サービス基本法」 の対応は

問 法への対応について、市はどのように考えているか。

平成21年5月20日に公布された同法は、公共サービスの質の確保や地方公共団体の役割などを規定した法律であり、公共サービスに関する事務事業の推進に留意するよう周知徹底を図ったところである。また、委託をした場合の役割分担と責任の明確化や公共サービスの実施に従事する者の労働環境の整備等については、これまで留意してきたが、同法の施行を契機として法の趣旨、理念を踏まえ、業務の検証を深め、今後とも適切に対応していくと考えている。

なお、公共サービス基本条例の制定については、同法の基本理念や基本的施策について研究していきたいと考えている。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、平成20年度の歳入歳出が、適正かつ有効に執行されたかを執行部に詳細な説明を求めながら、厳正に審査されました。

なお、下記11人の委員が審査にあたりました。その審査の概要を報告します。

決算審査特別委員会委員

- 委員長 一剛 幸士子
- 委員 能正 剛みね
- 委員 山堂 原谷村川野
- 委員 深二 織洪木市宇山
- 委員 長原 大張
- 委員 長 津井 替藤
- 委員 副 委 知勝 恵

一般会計

総務費

就労講座受講後のフオローは

問 男女共同参画支援事業のうち「働きたい講座」と、仕事サポートなど、受講後の評価はどのようにしたか。3か月後に受講者のアンケート調査を行ったところ、就職率が大変少なかったとのことである。その後のサポートや、就労していない受講者へ何かの対応をしているか。

答 本市では、女性の再チャレンジを支援し、就労環境の整備を推進する取組の中で、就労講座を開催している。この講座に対するアンケート調査では、66.1%の満足度が得られたが、その後3か月以内の就労等については13.9%であった。満足度があっても、実際の就労に結びつかないことは残念である。女性センターでは、受講後のフォローとして、2階の仕事サポートコーナーで、就労に向

民生費

子どもたちの居場所づくりを

問 地域子育て支援事業のおやこDE広場は、非常に好評だと聞いている。また、移動児童館は市内各所でのニーズがあり、増設は必要と考えるが、人員不足により増やすことはできないとのことである。おやこDE広場は3歳までの子どもを対象としていると思うが、3歳以上の子どもたちの居場所づくりを今後、どのように進めていくのか。

答 移動児童館等の増設については、非常に厳しい状況にあるが、7か所あったものを平成21年度に14か所に増やしている。それに併せて、さまざまな地域のボランティアの方たちや町会の協力により、実質的にはさらに数か所を開催している。

農林水産業費

スーパージ草の現状と対策

問 水田に除草剤を撒いても除去できないスーパージ草があるが、本市でもそのようなケースはあるのか。また、あるとしたらどのような対策をしているか。

答 本市のSU剤(どんな雑草にも効果があり、人畜毒性も低い)という優れた特性を持った除草剤の使用は、平成12年ころから普及した。

利根川水系から用水している六和地区や矢切地区の水田において、2、3年前から本剤に抵抗性を持つた水タライヤオモダカ等の雑草が発生している。発生率は低いが年々増殖傾向にある。

対策として、同じ除草剤の連用を避けることや、効果を高めるため散布後1週間は水を溜めておくこと、また小まめに手作業による

土木費

歩道橋と跨線人道橋について

問 道路に架かる歩道橋と鉄道上空に架かる跨線人道橋はどのくらいあるか。また、維持管理はどのようにしているか。

答 歩道橋の設置数は9橋、跨線人道橋は13橋である。

橋りょうの維持補修については、災害時の緊急輸送路に係る歩道橋や跨線橋を優先的に耐震補修を行い、平成20年度までに整備を完了している。

また、21年度は常盤平地先の和清水歩道橋の塗装改修工事を実施し、さらに、歩道橋等を含めた全ての橋りょうの点検調査を進めている。

消防費

メディカルコントロール体制の成果は

問 救命率の向上のため、メディカルコントロール体制を整備されたが、どのように貢献しているか。

答 メディカルコントロール体制については、平成15年5月から柏市・流山市・我孫子市・野田市・松戸市の5市で運営している。

内容については、応急処置に対する医師からの指示・助言、救急活動の事後検証、救急救命士の再教育である病院実習である。

成果については、心肺停止による救急搬送者に高度救急救命処置を行ったことにより退院されたのが平成15年には4名、全体の17%に対し、20年には15名、全体の48%まで向上している。このことは救急救命士の配置体制が整ったこと、メディカルコントロール体制による医師からのさまざまな知識・技術も向上している成果と考えられる。



塗装改修された子和清水歩道橋

特別会計

国民健康保険特別会計

メタボ健診未受診保険料に影響も

問 特定健康診査で、平成24年度までに受診率64%の目標を達成しない、国から約6億円の制裁金を課せられると聞く。現状で24%程度と受診率が低い、目標達成の方策はあるか。

答 目標値の達成状況によつて後期高齢者支援金の加算、減算が行われ、保険料に影響が大きい。受診率向上の取組は、かなり重要となる。「広報まつど」や「市水



企業会計

病院事業会計

小児医療センターの状況は

問 平成20年度の新生児特定集中治療室(NICU)の状況は

答 市立病院の新生児病棟ではNICUを12床持っている。

近隣にはNICUの病床がなく、市立病院だけが、絶えず利用率100%の状況にある。

このことから、出産を控えた妊婦の方は不安を抱えている状況であると考えられている。

新生児問題については、新生児の集中治療を管理する体制確保と同時に、出産できる体制を絶えず整えておくことで、両面から維持する必要があると考えている。

のためには、医師、看護師、助産師の力が非常に重要であり、看護職の確保については、今後も努力していかなければならないと考えている。

また現在、市立病院の産婦人科医も新生児科医1名については、2名減の状況であり、医師確保に全力で取り組む考えである。

問 「児童生徒活動支援事業」の具体的な内容と成果は

答 この事業は、小中学校がコンクールに参加するための吹奏楽や合唱の運営費及び審査料、また、関東大会以上の交通費や遠隔地のコンクールに出場するための宿泊費である。

平成20年度では、吹奏楽コンクールに中学校が3校、小学校が1校が開東大会に出場した。そのうち和名谷中学校が全国大会で金賞

除草を行うこと。これらの注意事項をJ-Aとかつ中央や県東葛飾農林センターと共に農家組合長会議や共進会で農業者にに対し、指導をしていきたいと考えている。

また、維持管理はどのようにしているか。

答 歩道橋の設置数は9橋、跨線人道橋は13橋である。

橋りょうの維持補修については、災害時の緊急輸送路に係る歩道橋や跨線橋を優先的に耐震補修を行い、平成20年度までに整備を完了している。

また、21年度は常盤平地先の和清水歩道橋の塗装改修工事を実施し、さらに、歩道橋等を含めた全ての橋りょうの点検調査を進めている。

メタボ健診未受診保険料に影響も

問 特定健康診査で、平成24年度までに受診率64%の目標を達成しない、国から約6億円の制裁金を課せられると聞く。現状で24%程度と受診率が低い、目標達成の方策はあるか。

答 目標値の達成状況によつて後期高齢者支援金の加算、減算が行われ、保険料に影響が大きい。受診率向上の取組は、かなり重要となる。「広報まつど」や「市水

問 救命率の向上のため、メディカルコントロール体制を整備されたが、どのように貢献しているか。

答 メディカルコントロール体制については、平成15年5月から柏市・流山市・我孫子市・野田市・松戸市の5市で運営している。

内容については、応急処置に対する医師からの指示・助言、救急活動の事後検証、救急救命士の再教育である病院実習である。

成果については、心肺停止による救急搬送者に高度救急救命処置を行ったことにより退院されたのが平成15年には4名、全体の17%に対し、20年には15名、全体の48%まで向上している。このことは救急救命士の配置体制が整ったこと、メディカルコントロール体制による医師からのさまざまな知識・技術も向上している成果と考えられる。

問 「児童生徒活動支援事業」の具体的な内容と成果は

答 この事業は、小中学校がコンクールに参加するための吹奏楽や合唱の運営費及び審査料、また、関東大会以上の交通費や遠隔地のコンクールに出場するための宿泊費である。

平成20年度では、吹奏楽コンクールに中学校が3校、小学校が1校が開東大会に出場した。そのうち和名谷中学校が全国大会で金賞

日本共産党

一般会計、国民健康保険特別会計、松戸競輪特別会計、公設地方卸売市場事業特別会計、老人保健事業特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業特別会計、駐車場事業特別会計、水道事業会計及び病院事業会計は賛成する。

今回、決算年度が第三次実施計画の初年度であり、第二次実施計画で取り組まれた事業の反響がどのように生かされ、引き継がれ、発展してきたのかを視点に審議に臨んだ。

市民クラブ

一般会計では、簡易修繕業務の実施、市民相談業務における新たな行政課題の発掘、女性向け就労支援の充実、平和事業の大きな前進、児童及び高齢者虐待防止への取組、

まつど未来

市民クラブ、松政クラブ、政策グループまつど未来を代表して全会計決算11件について賛成する。

総務費では、市税や国民健康保険料のコンビニエンスストア・コンビニエンスストア（多様な方法での支払い）などによる収納が開始された。市民の利便性向上が図られた。今後も収納率の向上に期待する。また、松戸市警防ネットワークの拠点施設として、「安全・安心センター」がオープンしたが、さらに安全な

子ども医療費助成の年齢拡大、妊産婦健診助成制度の拡充、地球温暖化防止の策、防災、リサイクルこみの品質改善、若者就労支援の新たな展開、市有建築物の耐震化計画策定、景観行政団体への移行強化等は評価する。

職員は有給休暇の取得における不均衡と正し目標の達成、車両稼働率の向上と効率化による経節減、駅前投票所の設置による選挙参加環境の整備、生活しなご資金利用条件の更なる緩和、障害者及び高齢者住宅改良における介護保険との併用、特別養護老人ホームの増設、児童館等の子ども居場所センターの耐震化とエレベーター設置、こみ有料化路線の見直し、障害者雇用の促進、産地育成強化支援の対象要件見直し、空き店舗対策、小中学校の耐震対策、公営住宅の拡大、小中学校職員室

安心な市民生活の実現に向け、尽力されるよう期待する。

民生費の障害者福祉関係では、障害者の自立と社会参加に向け、支援が図られているが、今後の制度変更も視野に入れながら、更なる支援をお願いしたい。児童福祉関係では、民間保育園の増設、おやこDE広場の整備など、少子化問題解消に向けた施策の充実が図られていく。高齢福祉では、特養ホーム建設、配食サービスなど、今後とも手厚い対応をお願いする。

衛生費では、妊婦健康診査の公費負担回数の拡大や、家庭訪問事業など、きめ細かな施策も実施された。地球温暖化問題では、「緑のカーテン事業」やCO2宣言事業所制度などの取組を評価する。

労働費では、労働相談業務の相談回数の拡大や、若者の就労支援での充実が図られた。

農林水産費では、農産物ブランド化推進事業などを評価する。

の冷房化、小中学校及び高校の備品、消耗品、教材の充実、保育所民営化や給食調理業務の民間委託路線の見直し等、再検証が必要と要望する。

国保会計では、市民の生活実態に寄り添った国保運営を求める。競輪会計では、ここ数年の設備投資を見直し撤廃した場合、今後の事業の見直しと撤退の選択とのバランスを見極める時期に来ており、速やかな撤退を求める。

市場会計では、空き小間数の増加で、大きな補償負担となる公設市場借上げ方式の問題や1市2市場の非効率性の問題を指摘する。

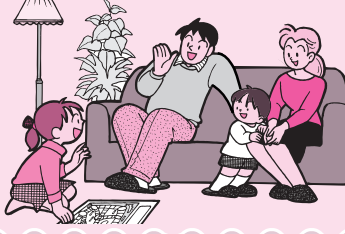
老人保健会計では、後期高齢者医療制度改善後、老人保険制度の問題点を指摘する。

介護保険会計では、「保険あつて介護なし」の不安をぬぐい去ることとできず、一層の介護基盤強化を強く求める。

後期高齢者医療会計では、高齢者への医療差別、負担増から制度そのもの問題点を指摘する。

平成20年度 決算討論

平成20年度決算についての討論が定例会最終日に行われました。



商工費では、今後とも賑わいのある活気あふれる商店街づくりを要望する。

土木費は、「松戸市景観基本計画」による景観に配慮したまちづくりに向けて、小中学校の遊具整備を評価する。

消防費では、消防救急活動に携わる皆様の尽力に敬意と感謝を申し上げます。

教育費では、スワップ派遣の拡大を評価するとともに、小中学校のバイロトスター事業が、学校教育の課題解決に向け、先駆的、先進的

な事業となるよう期待する。

特別会計のうち、国保会計では、市税同様、収納率の向上を目指し、取組の強化をお願いする。

競輪会計では、経営努力により一般会計への2億円の繰り出しと雇用の確保を評価する。

下水道会計では、着実に整備が進められ、評価する。

企業会計のうち、病院会計では、安全で安心な医療の提供に敬意を表する。今後、新病院の建設を控え、事業収益の向上と安定経営に努めることを強く要望する。

公明党

平成20年度一般会計歳入歳出決算、特別会計並びに企業会計決算について賛成する。

平成21年度が第3次実施計画の初年度とすることを重視して審査した。

歳入では、徴収体制の強化に取り組んだことや換機業務において県内トップクラスの成績を上げられたことは評価する。

総務費では、松戸市財政改革計画や松戸市集中改革プランでの職員定数の削減等による、人件費の抑制を評価する。今後とも団塊の世代の退職にあたり、再任用職員の経験とノウハウを生かす適正な配置と活用を要望する。

民生費では、20年度より開始

社民党

後期高齢者医療特別会計に反対し、一般会計・その他特別会計・企業会計に賛成する。

昨年、アメリカ発の金融危機は、日本経済に大きな打撃を与え、日本経済にも輸出の大減縮、生産減による雇用不足と消費の後退を招き、自治体税収は大幅な落ち込みとなった。このように、松戸市の最終予算に対する執行率は、歳入が99.3%、前年度比11.7%増、歳入不足額は9億2,600万円、歳出は97.8%で0.9%増加し、歳出不足額は26億円となつているが、扶助費等の歳出増により不用額が減少し、市政の厳しさがかかえる。

以下、歳出について要望等を申し上げます。

された精神障害者居宅サービス事業については、地域生活が可能となるよう側面からの支援を大いに評価する。

衛生費では、がんは早期発見・早期治療が大事である。本市において、「がん検診」の受診率向上に向けた取組を評価する。

労働費では、若者就労支援のため、就職サポートセンターの増設等、さまざまな施策に取り組みられたことを評価する。今後も就労支援がより一層充実されるよう要望する。

農林水産費では、地産地消促進のため、さまざまな支援に取り組みよう要望する。

土木費では、建築確認申請において、建築基準法の円滑な運用を図るため、「仮預かり審査制度」の導入を評価する。今後とも柔軟な対応を願う。

消防費では、地域の防災計画に於いて市民の生命を守るため、防災意識の向上を評価する。

総務費の一般管理費に関連して、平成20年度は新規採用が市長部局消防で106人、病院48人、再任用43人の合計197人、19年度退職者265人に対し、補充率74.3%であった。増え続ける業務量に対し、職員1人当たり、隣市に比べても多い。また、臨時職員が、市役所全体で1,000人を超えており、人件費抑制による格差を生んでいる。市職員健康管理と臨時・非常勤職員の待遇改善を強く要望する。

衛生費では、地球温暖化対策地域推進計画等業務において、温室効果ガス削減を目標として、16年度から20年度までの4年間で3.65%削減する目標であったが、24%減であった。原因は、一般廃棄物の燃焼処理（リサイクルされないプラスチックの混焼）にあることと対策強化を願う。

土木費の耐震診断業務では、害発生時の対応が充実されるよう要望する。

教育費は、不登校の早期発見・早期対応のために、学校指導員の派遣や体験プログラム等の展開を評価する。

国民健康保険特別会計では、さまざまな制度改正や、収納率向上への取組を評価する。

下水道事業特別会計では、収納率の向上や水質の推進、災害時の避難場所へのマンホールトイレ設置の取組を評価する。

介護保険特別会計では、特定高齢者の把握や介護予防教室の運営等を評価する。

病院事業会計では、医師不足・看護師不足への対応と、市立病院として果たすべき役割の推進と市民から信頼される運営を願う。

最後に、今後とも適正な運用と医療・介護・福祉・環境・安全なまちづくり等、市民生活を守る22年度予算編成をお願いする。

利用が少ないことである。耐震補強の費用負担など、他市の状況も含めた実効性のある制度の検討を願う。

国民健康保険特別会計では、メタボリックなど予防を中心とした健康診査が始まり、5年で受診した率85%にするとしている。しかし、20年度の受診率は23.5%と目標に届いていない。松戸市は、「健康管理は個人の責任」という姿勢を改め、「市民の健康は守る」という姿勢で50歳の受診を無料とするなど、大胆な施策を要望する。

後期高齢者医療特別会計では、75歳以上の全ての高齢者を加入させ、高齢者だけを切り離した医療制度として創設された。しかし、政府も名称変更や一部制度の助成を延長させるを得ないで、高齢者から医療者別との批判があった。県内ではなかったが、制度の廃止を求める立場から反対する。

常任委員会の審査から

9月11日・14日・15日及び16日に各常任委員会が開催され、今定例会に提出された議案や陳情が審査されました。
ここでは、その審査の中での質疑・答弁(要点)の一部を掲載します。
(議案の内容については、1面に掲載してあります。)



総務財務 常任委員会

議案第14号
平成21年度松戸市一般会計補正予算(第2回)

問 今回の補正は、国の平成20年度第2次補正予算及び21年度第1次補正予算が基本となっている。国による地域活性化・経済危機対策臨時交付金活用事例集は、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他の4本の柱がなっている。これを読むと、工夫をすれば雇用促進・経済活性化につながるのではないかと考える。今回の国の対策を受けて、どのように補正予算に臨んだか。

答 政策推進会議を経て、各本部企画課を経由して各課に周知した。その後、各本部で事業を厳選して財務本部で集約したものである。
問 国では補正予算の見直しが図られてきているが、本市への影響はあるか。また、あるとすれば、想定される対象事業は何か。
答 今回の補正予算は、教育関係、雇用関係、安全・安心の関係、健康子育てで支援が主なものである。



子育てを楽しもう

健康福祉
常任委員会

議案第15号
平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
主な質疑

問 市内の出産ができる医療機関は何か所あるか。また、出産費用はどれくらいかかるのか。
答 出産ができる医療機関は6施設である。費用は40万円から55万円まで、平均すると約45万2千円となる。
問 制度改正で出産育児一時金の引上額が4万円となったのは、どのような経過か。
答 これまでは出産後に市役所に申請をして、償還払いで給付していたため、一時的に被保険者が多額の現金を用意する必要が生じていた。
今回の改正は、緊急の少子化対策の一環として、出産に係る被保険者等の経済的負担を軽減し、安心して出産ができるという観点から引き上げられた。

教育経済
常任委員会

陳情第11号
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情
主な質疑

問 文科科学省の一般会計予算

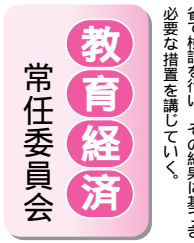
都市整備
常任委員会

議案第20号
平成21年度松戸市水道事業会計補正予算(第2回)

問 今回の補正は、国の地域活

性化経済危機対策臨時交付金を活用するようだが、政権交代で国が交付金の凍結をした場合、この補正は減額補正の対象になるか。
答 報道の範囲でしか承知していないが、万が一凍結の対象になれば、当然減額補正となる。この補正予算を認めたいたした場合でも、国からの交付決定があるままでは、執行は控えた。
議案第27号
市道路線の認定について
主な質疑

今、常任委員会は
松戸市議会は、平成21年4月から施行された「松戸市議会基本条例」により、市政の課題に適切かつ迅速に対応するため、常任委員会の活動・機能を活性化させるよう努めています。
条例の策定の過程において、市議会へ請願・陳情を提出された方には、議会への市民参加という視点から、委員会でのご説明を行う機会を設けました。また、議会が行われていないときにも常任委員会を開催して、市政の課題について委員間での意見交換を重ねるべく、関係する市民の方のところに外出し、話を聞かせていただくなどの活動を行っております。
議会から市民の皆様や行政に市民福祉の向上を目指した提言ができるよう努めます。



すくすくと大きくなあれ



ゆいの花公園にて



開通が待たれる都市計画道路3・3・7号

について、公安委員会と協議をしていく。

特集 ～ 議会を身近に～

松戸市議会をご案内します

今号では、市民の皆さまに議会を身近に感じ、関心を持っていただくため、議会棟やホームページについての紹介をします。本会議や委員会は公開されていますので、会議当日にお越しいただければ傍聴することができます。

本会議を傍聴するには



議会棟地下玄関を入ると...



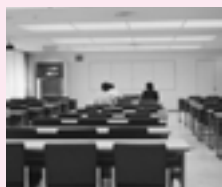
傍聴受付（委員会は事務局へ）



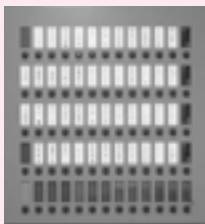
車いす用のリフトもあります。



傍聴席の様子



特別委員会室は、主に予算・決算などの審査や本会議中の担当議の控室に使用します。



議員は登庁すると自分の名前のランプを点灯させるので、ひと目で登庁したことが分かります。

問い合わせ先
市議会事務局
(366)7382



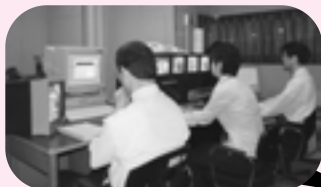
本会議場では、議員が市長に対し、「市政に関する一般質問」や市長などから提出された議案や、市民から提出された請願・陳情を審議します。



委員会室では、本会議で常任委員会等に付託された議案や請願・陳情等についての詳細な審査が行われます。



法律により議会図書室が設けられています。市民の方もご利用になれます。



本会議場にはカメラが3台あり、映像にテロップを付けて配信します。



議員の控室

インターネットで見よう

松戸市議会ホームページ

▶ [インターネット議会中継（録画中継）はこちら](#)

平成17年6月定例会からの本会議の様子をご覧いただけます。

アクセス件数 153,325件
(平成17年6月開設から21年9月末まで)

▶ [松戸市議会会議録検索システムはこちら](#)

本会議（平成2年3月定例会から）と委員会の会議記録（平成19年3月定例会から）をご覧いただけます。

アクセス件数 73,743件
(平成14年8月開設から21年9月末まで)



それぞれ、会議の日程、発言内容、議員名などから検索することができます。

9月議会 審議結果

番号	件名	本会議の結果	番号	件名	本会議の結果
認定					
第1号	平成20年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第23号	松戸市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致
第2号	平成20年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第24号	和解及び損害賠償の額の決定について（住宅地の陥没事故）	同意 全会一致
第3号	平成20年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第25号	和解及び損害賠償の額の決定について（道路事故）	同意 全会一致
第4号	平成20年度松戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致	第26号	損害賠償の額の決定について	同意 全会一致
第5号	平成20年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第27号	市道路線の認定について	可決 全会一致
第6号	平成20年度松戸市老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第28号	教育委員会委員の任命について	同意 全会一致
第7号	平成20年度松戸市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致	第29号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致
第8号	平成20年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	議員提出議案		
第9号	平成20年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 多数意見	第12号	「後期高齢者医療制度」の廃止と窓口負担の引き上げ中止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第10号	平成20年度松戸市水道事業決算の認定について	認定 全会一致	第13号	高校入学金と授業料の無償化及び返済不要の奨学金制度創設等を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第11号	平成20年度松戸市病院事業決算の認定について	認定 全会一致	第14号	日豪FTA交渉を中止し、日米FTA締結方針を撤回するよう求める意見書の提出について	否決 多数意見
市長提出議案			第15号	所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について	否決 多数意見
第14号	平成21年度松戸市一般会計補正予算（第2回）	可決 多数意見	第16号	地方分権改革推進計画と新分権一括法制定を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第15号	平成21年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）	可決 全会一致	第17号	安心社会実現のため22年度予算の確保を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第16号	平成21年度松戸市下水道事業特別会計補正予算（第2回）	可決 全会一致	第18号	大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書の提出について	可決 全会一致
第17号	平成21年度松戸市老人保健事業特別会計補正予算（第1回）	可決 多数意見	第19号	国庫負担による中学校卒業までの医療費無料化制度の創設を求める意見書の提出について	可決 多数意見
第18号	平成21年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第1回）	可決 多数意見	第20号	肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の提出について	可決 全会一致
第19号	平成21年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	可決 多数意見	第21号	義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について	可決 全会一致
第20号	平成21年度松戸市水道事業会計補正予算（第2回）	可決 全会一致	第22号	国における平成22（2010）年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可決 全会一致
第21号	平成21年度松戸市病院事業会計補正予算（第2回）	可決 全会一致	陳情		
第22号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	第11号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情	採択 全会一致
			第12号	「国における平成22（2010）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情	採択 全会一致

人事案件

教育委員会委員の一人固定資産評価審査委員会委員の人の任期満了に伴い、その方の任期及び選任に同意しました。（敬称略）

教育委員会委員

八田 賢明

固定資産評価審査委員会委員

待山 克典

意見書7件提出

地方自治法第99条の規定により国会及び関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

地方分権推進計画策定と新分権一括法制定を求める意見書
安心社会実現のため22年度予算の確保を求める意見書
大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書

国庫負担による中学校卒業までの医療費無料化制度の創設を求める意見書
肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

国における平成22（2010）年度教育予算拡充に関する意見書

（年度教育予算拡充に関する意見書）

声の議会だよりをご利用ください。

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音テープを希望者に貸し出してあります。詳しくは、左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL（383）7111
住所 松戸市五香西3-7-1

戸定菊花展（菊で祝う七五三）

10月31日（土）11月15日（日）午前9時30分～午後5時 入館は4時30分まで、戸定にて開催します。今年も「戸定アートプロジェクト2009」と題し、菊花展を始め



昨年の菊花展

編集の窓

去る8月に行われた衆議院議員選挙では、「地方分権」が重要な論点となりました。地方でできることは地方で、効率的な住民本位の行政が実現できるようにすることが大切です。市議会としてもしっかりと議論を深めてまいりたいと思います。

さて「まつど議会だより」は、昭和35年4月の第1号発行から49年が経過し、今回で199号となりました。次号は記念すべき200号となります。

広報委員会として常に思っているようにして、議会の内容を市民の皆様に分かりやすくお伝えできるといいことです。これらも皆様に分かりやすい紙面作りに取り組みたいと思います。

今後ともらに「愛読をいただきますようお願いいたします。

次回発行予定は
1月31日（日）です。